

第6号

入居後のケア内容とその後

O・C様



年齢 88歳
性別 女性
やりたい事 温泉に入りたい！
既往歴 糖尿病、類天疱瘡、尿路感染症
疾患名 胃がん 終末期
医療処置 内服薬・吸入薬管理、血糖測定及び
インスリン注射(2024年5月現在は中止)



入居経緯

2023年10月、尿路感染のためS病院へ入院。
入院中に実施したCT検査にて胃がん・右乳がん
が見つかるも、積極的な治療は希望しなかった。
長男と二人暮らしであり、自宅での生活が困難で
あるため施設入居となった。

平均請求額 83,448円(サービス・
訪問介護の介護保険自己負担・
訪問看護の医療保険自己負担分・
訪問理容費立て替え込み)



ケア内容

O・C様はナースコールが認識できず、転倒歴があっ
たため離床センサーを使用することで動作をキャッチ
して、車椅子又は歩行器で移動介助していた。デイサ
ービスの希望があり、週2回利用することで徐々にA/D
L回復が認められた。理学療法士により都度適切な福
祉用具を評価提案し、約2か月後にはトイレが自立でき
るようになった。

長距離移動の際はシルバーカーで
移動できるようになり、デイサ
ービスでの屋外活動や休所日の対人
活動なども積極的に行い、生き
生きと過ごした。

類天疱瘡があり、全身乾燥傾向で
紫斑などのスキンテアがあったが、
訪問看護の際に週2回の入浴と日々
のスキンケアを継続することで、
スキントラブルが無くなった。



【入居当日】



【入居後】



【屋外活動の様子】

類天疱瘡に対してプレドニンを投与中であったことも
影響し、毎食前にインスリン注射を実施していた。し
かし活動量の増加やプレドニンの減量等に伴いたびた
び低血糖を起こしていたため、適宜低血糖に対する処
置を行った。1日4回の血糖測定に対応してデータを把
握し、徐々にインスリン投与が不要となり、結果的に
中止に至った。

